

としまplus

プラス

広報としま特別号

令和5年
(2023年) 9/1
No.2033



SDGs未来都市豊島区



“ひと”が主役
みんなで作る“としまの未来”

“ひと”が主役 みんなでつくる“としまの未来”

誰もが住みたくなる8つのまちづくり

「豊かな未来につながる」「子どもや若者、女性の声につながる」「全ての人・企業につながる」。この3つの「つながる」は、私が最も大切にしている区政の基本姿勢です。区役所自ら区民と寄り添う視点を持ち、もっと区民に身近な区役所になるための第一弾として、6月に始めた「子ども版広聴(子どもレター)」。開始後1年半で約200通もの意見が子どもたちから寄せられ、今も日々届いています。8月から開始した「豊島区民による事業提案制度(→P16)」とあわせて、区民の皆さまの想いをしっかり受け止め、実現してまいります。区民の皆さまに実感いただける「ひと」にやさしく、一人ひとりが主役となるまち。この「としまの未来」を切り拓くため、全力を尽くしてまいります。



豊島区長
高橋みゆき

p4~7

①誰もが安全・安心に暮らせるまち

区民の皆さまの命と暮らしを守るため、ハードとソフトの両面から安全・安心のまちづくりに取り組みます。ソフト面では、避難時に支援が必要な方にも配慮した災害対策、繁華街や商店街の防犯パトロールの強化などによる防犯対策を推進します。ハード面では、無電柱化とあわせ、区内の約4割を占める木密地域の不燃化・耐震化を進めます。

- 発災時における避難行動要支援者の個別避難計画の作成
- 災害時に備えた地域コミュニティの強化
- 地域との連携強化による防犯力の向上、事故防止 など



p8

②切れ目のない支援で子育てしやすいまち

安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりのため、妊娠から出産・子育て期まで切れ目のない支援を行います。給食費や出産費用などの経済的支援をはじめ、健康・出産・保育・教育などの相談を充実し、子育ての不安を解消するとともに、在宅での子育てなど、それぞれの子育てに合わせた支援に取り組みます。

- 区立小・中学校給食費無償化、出産費用の実質無償化
- 児童福祉と母子保健の連携強化
- おむつの宅配を通じた見守り支援 など

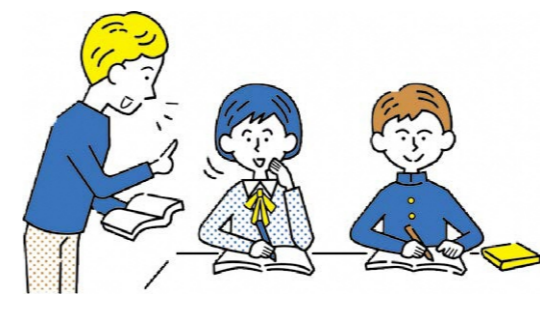


p9

③笑顔で元気な“としまっ子”が育つまち

深い学びと豊かな心を育む教育を基軸とし、スクールソーシャルワーカーや放課後支援などを強化することで、不登校やヤングケアラーなどの課題に対応し、未来を切り拓く「としまっ子」を健やかに育てていきます。また、子ども若者総合相談などを充実するとともに、民間団体との連携を図り、悩みや孤立を抱える若者の支援を進めていきます。

- 一人ひとりに合わせたインクルーシブ教育の充実
- 不登校児の支援強化および居場所づくり
- 児童養護施設退所者の支援 など



p10・11

④“アート・カルチャー”が日常にあふれるまち

池袋モンパルナスから続く文化・芸術に加え、「トキワ荘」をはじめとする世界で注目されるマンガ・アニメ・コスプレの聖地を世界に発信し、世界中から人々が訪れる、にぎわいある文化都市としてのブランド力を高めます。また、区民の皆さまが、クラシックやジャズ、伝統芸能などのアートやカルチャーを、身近に楽しむことのできるまちづくりを進めます。

- 池袋西口公園を中心とした「音楽のまち」づくり
- マンガ・アニメ・コスプレの聖地のプロモーション
- オンラインで鑑賞する「バーチャル展示」の推進 など



p12・13

⑤シニアライフが輝くまち

一人暮らしの高齢者の割合が日本一高い豊島区だからこそ、高齢者の皆さまが、住み慣れたこのまちで、いつまでもいきいきと生活を送ることができるよう、認知症対策の強化、フレイル対策の充実、スポーツなどアクティブシニアへの支援、高齢者でも使いやすいデジタル環境の整備などに取り組みます。

- 認知症対策、フレイル対策のさらなる充実
- 民間事業者と連携したシニアスポーツへの支援
- 「だれでも食堂」を通じた多世代交流の推進 など



p14

⑥商店街を元気に！起業・創業を応援するまち

コロナ禍の影響や物価上昇など、厳しい状況が続く区内商店街や中小企業へのサポートを充実します。また、民間のアイデアなどを活かし、社会課題の解決に取り組む公民連携のプロジェクトを進めます。さらに、ふるさと納税の返礼品制度を活用し、伝統工芸品を応援するとともに、隠れた地元名産品の掘り起こしを進め、地域産業を活性化させます。

- 商品券事業など地元商店街への支援強化
- 公民連携による起業・創業支援
- ふるさと納税などによる地場産業の振興 など



p15

⑦地球にも人にもやさしい持続可能なまち

SDGs未来都市として、脱炭素化や再生可能エネルギーの利用促進、省エネルギーの普及に、行政・事業者・区民が一体となって取り組みます。省資源・資源循環や食品ロス対策など、行動変容につながる意識改革や環境教育を進めます。本年10月からのプラスチック資源回収を契機として、環境都市づくりを加速していきます。

- 環境にやさしいエネルギーの利用促進
- 公共空間への植樹による緑被率の向上
- 未来を担う子どもたちへの環境教育の推進 など



p16

⑧人が主役の“ウォーカブル”なまち

まちや施設のバリアフリー対策を進めるとともに、まちを歩きながら、音楽・食・癒やし・学び・遊びなど様々なヒト、コト、モノと出会い、楽しむことができる「ひと」が主役のまちを実現します。公民連携で取り組み、池袋をはじめ区内全体をウォーカブルな回遊性の高いまちへと発展させます。

- 池袋駅東西をつなぐ“ウォーカブルなまちづくり”の実現
- 民間企業と連携した歩いて楽しい街並みづくり
- 車椅子などでも、まちに出かけたくなる環境づくり など





関東大震災から100年

誰もが安全・安心に暮らせるまち



首都直下地震は、今後30年以内に70%の確率で発生するといわれています。関東大震災から100年の節目を迎え、区民の皆さまの命と暮らしを守るために、安全・安心なまちづくりを進めていきます。

●木密地域のまちづくりに関すること…地域まちづくり課事業第1・第2グループ ☎3981-0489・1464

木密地域の不燃化 ～大地震や火災から区民を守る～

木密地域は老朽化した木造の建物が多く、公園などの空き地が少ないため、火災の延焼拡大や建物倒壊などの危険性が高くなっています。また、入り組んだ細い道路が多いため、消防車などの緊急車両が入れず、消火作業が滞ってしまうことが課題です。木密地域は区内の約4割を占めます。区は昭和58年から取り組みを開始し、現在に至るまで東京都と連携し、木密地域の不燃化・耐震化を進めています。

近隣の皆さまのご協力により、まちが変わっています

●東池袋4・5丁目地区(昭和58年～)



道幅(1.8m～3.5m)が狭く、老朽住宅が密集していましたが、用地買収などを経て6mに道路を拡幅しました。建物倒壊時にも道路がふさがりにくくなり、避難や消火活動をスムーズに行えるようになっています。

●雑司が谷・南池袋地区(平成28年～)



地域のコミュニティと防災の拠点だった旧高田小学校跡地を、拡張整備により、「雑司が谷公園」にリニューアル。防災機能はもちろん、「雑司が谷らしさ」を大切に、地域コミュニティを育む場になっています。

●池袋本町・上池袋地区(平成17年～・平成3年～)



広い公園が少なかった池袋本町地区に、かまどベンチや防災機能を備えた「池本だんだん公園」が開園。園内の高低差(だんだん)を活かした大すべり台や大階段があり、親子でにぎわっています。

東池袋5丁目で、 防災機能をもつ公園を 新たに整備します

災害時だけでなく、日頃から地域の方に愛される公園となるよう、計画の段階から町会をはじめ周辺に住む皆さまとともにワークショップを開催し、検討を重ねてきました。9月ごろ工事が始まり、令和6年3月末までに完成する予定です。

ワークショップ参加者にお話を伺いました/
三輪 緑さん(東池袋5丁目町会)

公園ができると聞いたときに、「日陰でほっと一息つけるベンチがほしい」「子どもが遊べる遊具があればいいね」など、近所の方と話をしたりすることもありました。日頃から公園に色々な世代の方が集い、顔の見える関係ができていったらいいですね。もしも地震が起きて心細くても、一時的に集まってお互いの安否確認ができますし、声をかけあうことで何よりも安心につながると思います。私は生まれも育ちもここなんです。公園を中心に、自然とにぎわいが生まれるとうれしいです。完成後は、災害時にマンホールトイレやかまどベンチを活用できるように訓練などをしていきたいですね。



HINODE GARDEN PARK

【公園のコンセプト】

- 幅広い世代が集い、遊び、憩える場
多様な世代がベンチやウッドデッキでくつろぎ、子どもが遊具で遊べる公園。日陰を作る棚や小噴水などを整備。
- 日陰のある憩いの散歩道
- 災害時の一時避難場所として住民を守る場
広く平坦な場の確保、かまどベンチやマンホールトイレ、緊急車両の通行が可能な舗装(インターロッキング)を整備。

◀かつての町名「日出」にちなんだ愛称に。ワークショップ参加者のアイデアやアンケートから、名前が決まりました。

100年前を振り返る



東京駅前の焼け跡、日本橋方面(気象庁ホームページより)

1923年9月1日午前11時58分、神奈川県相模湾を震源地としてマグニチュード7.9の地震が発生しました。家屋被害(全半壊・焼失含む)は37万2千棟余、死者・行方不明者は10万5千人余にのぼりました。東京下町に発生した火災が強風と火災旋風により延焼し、日本橋、京橋、神田、浅草、本所、深川の旧6区は焦土と化しました。

関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京
備えよう、明日の防災

23区が連携した広報紙です
多くの方々に災害対策への関心を高めてもらうため、23区の広報紙に、同一の写真とロゴマークを掲載しています。

当時の豊島区域の様子は？

▶被害状況 死者11名、負傷者10名、家屋被害は101戸(『豊島区史』より)。旧東京市内と比べて被害は比較的小さかったものの、各方面への交通の要路にあたり、避難者が殺到し、救援隊や物資の経由地ともなって非常な混乱を来したようです。

▶救助者、避難者の受け入れ地として 震災翌日には、小学校など18か所に收容所がおかれ、巣鴨駅・池袋駅付近に救護品受渡所、池袋に配給品集積所が設けられました。9月中旬には区域内の避難者は約7万5千人を数え、救助者・避難者の受け入れ地としての役割を担っていました。

震災直後の立教大学本館の棟(立教大学立教学院史資料センター所蔵)▶



開催中/ 郷土資料館 収蔵資料展「関東大震災100年、新着資料展」

10月8日(日)まで 午前9時～午後4時30分 ※休館日…月曜日、第3日曜日、祝日、9月19日(火)

◇関東大震災に関する絵はがきや文書、雑誌、書籍などを通して、当時の影響や復興の様子を振り返ります。

●郷土資料館 ☎3980-2351

①誰もが安全・安心に暮らせるまち

②笑顔で元気な子どもが育つまち

③アート・カルチャーが日常にあふれるまち

④シニアライフが輝くまち

⑤商店街を元気に！起業・創業を応援するまち

⑥地球にも人にもやさしい持続可能なまち

⑦人が主役のウォーカーフレンドなまち

いずれ来る地震に いま、備えよう

防災を日々の暮らしの中うまく取り入れて、少しずつできることから準備を進めることで、自分や家族を守る力になります。
 〇 防災危機管理課管理グループ ☎3981-2100

火災などの危険が迫ってきた時に、自宅にとどまることが「危険」と判断したら、迷わず
 救援センター(避難場所)や大きい公園、広場などへ!



どうして自宅での備えが必要なの?
 コロナ禍を経て、災害時の避難の在り方が従来と大きく変わりました。避難者が殺到すると救援センターの密が避けられず、感染症のリスクも高まります。救援センターの1人あたりの面積は2㎡(推計)、スペースも物資も必要最低限です。自宅の安全が確認できる場合は、自宅で過ごすことも選択肢の一つにしましょう。自宅での備えがあれば、いざという時も慣れ親しんだ場所で生活できる可能性が高まります。

1つ1つ進めると大きな助けに 参考…東京防災(東京都)、東京消防庁ホームページ、内閣府ホームページ

できることから 自宅の防災力アップ

日頃の整理・整頓も防災につながる

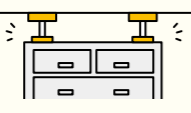
地震負傷者の30～50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因です。生活空間にできるだけ物を置かないのが最大の防御です。なるべく納戸やクローゼットなどへ収納しましょう。また、使わない物が雑然としているとけがのもと。特に、キッチンに包丁などの刃物やグラス、食器など、小物が多いので注意が必要です。

就寝時にも

- 暗闇の中で落ちていたりものや破片で傷つかないように、身近に懐中電灯、スリッパやスニーカーなどを準備しましょう。
- 窓ガラスの飛散防止のため、カーテン(厚手がおすすめ)を必ず閉めましょう。飛散防止フィルムを貼るのも有効です。
- 下敷きにならないように、家具類を配置しましょう。

家具・家電の転倒防止

突っ張り棒やL字金具、粘着マットなどで家具を固定しましょう。複数の固定器具を組み合わせると効果がアップ。また、高層階では、吊り下げ式の照明も大きく揺れて振り子のようになります。チェーンやワイヤーで固定しましょう。



外出中のもしもの

いつも持ち歩く防災グッズで備える

日頃から防災グッズをポーチなどに入れて持ち歩くことで、外出中でも安全に自宅や避難先へ移動する、または数時間その場で過ごす備えになります。

ポーチに入れるもの(例)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 現金、小銭
(キャッシュレス決済やATMが使えなくなる場合あり) | <input type="checkbox"/> ポケットライト |
| <input type="checkbox"/> 飲料水1本、携帯食
(チョコや飴など) | <input type="checkbox"/> ホイッスル、ブザー |
| <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー | <input type="checkbox"/> 筆記用具、メモ帳 |
| <input type="checkbox"/> 衛生用品(携帯トイレ、マスク、生理用品、ウエットティッシュなど) | <input type="checkbox"/> 身分証のコピー、緊急連絡先
(※紛失しないように注意!) |
| | <input type="checkbox"/> レインコート
(雨具・防寒にも) |

家族との連絡方法を再確認

- 離れ離れになった時のために、安否確認の方法や集合場所を決めておきましょう。
- 災害用伝言ダイヤル「171」は、毎月1・15日に体験日があります。
- 災害時つながりやすい、公衆電話の場所をチェックしましょう。公衆電話に馴染みのない子どももかけられるよう、災害用伝言ダイヤルとあわせて練習するのもおすすめです。
- 電話、LINE、Facebookなど、色々な連絡手段を持っておきましょう。

在宅避難に備えてローリングストック

インフラが途絶えても、最低7日間自宅で生活できる分量の備蓄品(飲料水・食料)を用意しましょう。普段使っている日用品や、食べ慣れた食品を少し多めに購入して備蓄し、使った分を補充しましょう。

これだけはそろえたい、厳選10品

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 飲料水
(1人1日3ℓ)、非常食
(1人1日3食。
日持ちするレトルト食品、缶詰など) | <input type="checkbox"/> ラップ
(ロングタイプがおすすめ。
食器に敷いて水の節約、骨折の時には添え木代わりに) |
| <input type="checkbox"/> ポリ袋(調理、水の運搬、簡易トイレづくりなど) | <input type="checkbox"/> カセットコンロ、ボンベ
(1本あたり60分ほど使用可。
耐用年数は各10年、7年が目安) |
| <input type="checkbox"/> 新聞紙(防寒、簡易トイレづくりなど) | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ |
| <input type="checkbox"/> 携帯トイレ
(1人1日5回分以上) | <input type="checkbox"/> 懐中電灯、ランタン、ヘッドライト |
| <input type="checkbox"/> 体ふき・口腔ケア用ウエットティッシュ | <input type="checkbox"/> 電源となるもの(モバイルバッテリー、ソーラー式、乾電池など。
複数種類準備するのがおすすめ) |

使い慣れたものがあれば、非常時も安心ですよ。



キッチン、寝室、子ども部屋などに分散収納がおすすめです。

ペットのためにできること

日頃の備え

- ペット用品の準備
キャリーバッグ、5日分程度のペットフードと水、食器やトイレ用品、首輪、リードなど。
- しつけと健康管理
ケージに慣れさせる、トイレトレーニング、ワクチン接種など。
- はぐれてもペットが飼い主のもとに戻れるように、マイクロチップ装着などの身元表示をしましょう。

ペット同行避難について

在宅避難が難しい場合、区内の救援センターへ、ペットを同行して避難できます(人の避難スペースとは別です)。救援センターにはペット用の備蓄がないので、各自でペット用品を持参してください。連れてきたペットの世話(餌やりや糞尿清掃など)は飼い主さん同士が協力して行います。

〇 生活衛生課生活衛生グループ ☎3987-4175



困難にある時に最も重要なのは“ひと”のつながり

防災訓練に参加しましょう

阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊被害で助かった方の約8割が自力か家族、地域の方に救助されています。災害の発生時は、区・消防・警察などは全力で取り組みますが、道路状況などにより、救援センターや災害現場にすぐに駆けつけることができない場合もあります。そのため、大きな災害になるほど、そこに住む地域の方々同士の声かけや協力が大切です。区が主催する救援センター開設・運営訓練では、備蓄の様子を見ることができほか、マンホールトイレや応急給水栓など、防災設備の使い方などを学べます。また、訓練に参加することで地域の方とのつながりが生まれます。日頃から顔見知りになり、挨拶を交わす関係を築ききっかけにしましょう。

参考…令和4年版防災白書(内閣府)



防災地図
(当課などで配布)



防災訓練
スケジュール

防災訓練に参加すると、物資の確認などを通して避難所生活をイメージしやすく、自分や家族のために用意しておきたいものがわかると思います。例えば、女性は生理用品や着替えのための目隠し、小さな子どもには日頃飲んでいるミルクや食品、心が落ち着くおもちゃなど。必要な備えを考えるきっかけにしてみてください。



いざ、その時に… 地震発生 最優先で身の安全確保を

- 丈夫な机の下など、物が「落ちてこない」「倒れてこない」空間に身を寄せ、揺れが収まるまで様子を見ましょう。
- 高層階(おおむね10階以上)では、大きくゆっくりした揺れにより、家具も大きく移動する危険があります。
- エレベーターの中では、すべての階のボタンを押し、止まった階で降りましょう。

予告! / としまDOKI★DOKI防災フェス2023

10月9日(祝)※小雨決行 午前10時～午後4時
 としまどりの防災公園(IKE・SUNPARK)
 ◇災害支援車両の展示、乗車体験、防災物品の展示など。
 詳細は、区ホームページなどでお知らせします。

① 誰もが安全・安心に暮らせるまち

② 子育てしやすいまち

③ 笑顔で元気な子どもが育つまち

④ アート・カルチャーが日常にあふれるまち

⑤ シニアライフが輝くまち

⑥ 商店街を元気に! 起業・創業を応援するまち

⑦ 地球にも人にもやさしい持続可能なまち

⑧ 人が主役のウォーカーフルなまち



切れ目のない支援で 子育てしやすいまち

子育て情報ハンドブック
(デジタル版)

子育てに役立つ情報を掲載した情報誌です。



育児中の孤立を防ぎ、誰もが安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つことができるまちづくりを進めます。

健康推進課保健指導グループ ☎3987-4174、長崎健康相談所 ☎3957-1191

東部子ども家庭支援センター ☎5980-5275、西部子ども家庭支援センター ☎5966-3131

妊娠から出産・子育て期の相談支援・経済的支援

子育て相談
育児支援

●母と子の保健バッグ
妊娠届時にお渡しします

●面接
保健師などが妊娠8か月頃に希望者に面接をします

●こんにちは赤ちゃん訪問
すべての赤ちゃんのご家庭に保健師または助産師が訪問します

●1歳のバースデー訪問

●一時預かり

●マイほいくえん

●病児・病後児保育

●ゆりかご面接
保健師などが妊娠中の体、心の相談にのります



●おめでとう面接
子ども家庭支援ワーカーが子育ての不安や悩みなどの相談にのります



妊娠中

出産

生後～4か月頃まで

1歳頃

経済的支援

●出産応援ギフト
電子クーポン5万円相当

●子育て応援ふくろう
●スマイルカード(一時保育無料券、マズカフェ利用券など)
出生届出時または児童手当等手続き時にお渡し
●誕生記念樹引換券

●子育て応援ギフト
電子クーポン10万円相当

●誕生お祝い品
木や布のおもちゃなど5千円相当

●商品券等育児パッケージ
第1子 6万円相当
第2子 7万円相当
第3子以降 8万円相当

●ベビーシッター利用支援事業

※担当課はそれぞれ異なります。詳細は「子育て情報ハンドブック」を参照してください。

ひとりで
悩まないで
ください

子育てに悩みはつきものです。区には子育て中の相談先として、池袋保健所、長崎健康相談所のほか、東・西部子ども家庭支援センターがあります。育児の相談だけでなく、ご自身に合った様々な支援の紹介もしています。来所面接、電話相談のほか、家庭訪問もしますので、いつでもご相談ください。

マイほいくえんで 在宅育児を支えます

在宅で子育てしている方が対象の制度です。お近くの保育園を身近な子育ての拠点(マイほいくえん)として登録できます。登録後は、園庭の利用のほか、離乳食講習会や健康・保健相談、保育園でのイベントへの参加も可能です。区立園だけでなく一部の私立認可保育所や地域型保育事業所が加わり、よりご自宅の近くの保育園を利用しやすくなりました。
園 保育課総務総括グループ ☎3981-2019

★マイほいくえん利用の保護者さん

育児で行きづまったときに保育園に行ったら、「よく来てくれましたね」と迎えてもらい、緊張の糸がほぐれていく感じがしました。間近で離乳食の作り方を教えていただいたのもとてもよかったですね。子どもにとってもここで過ごすのが楽しく感じるようになってきました。ほかの子が飲んでいるのを見て、苦手だった牛乳も飲めるようになったんですよ。後日、一時保育をお願いしたとき子どもが園に慣れていたので、抵抗なく過ごせていました。一度登録すれば、利用ごとに手続きをする必要もないので、とても楽ですよ。



笑顔で元気な“としまっ子”が育つまち



一人ひとりが幸せを実感できる教育を推進するとともに、子どもたちの声に寄り添い、子どもの権利を守ります。

子ども版広聴「子どもレター」

通常の広聴はがきとは別に子どもに親しみやすい様式(子どもレター)を職員が作成し、小・中学校や図書館など区内120か所の施設に設置しています(意見はインターネットでも受付可)。これまで区に届きにくかった子どもたちの声に積極的に応えていきます。

園 区民相談課事業・広聴グループ ☎4566-2411



としまっ子どもの権利相談室

相談用 ☎ FAX 5985-9580

EM kodomosoudan@city.toshima.lg.jp

- 相談方法 対面、電話、Eメール、お手紙、ファクス
※電話相談は、火・水・金曜日
- 開設時間 【火～土曜日】午前10時～午後5時45分(祝日・年末年始を除く)
- 場所 〒171-0032 雑司が谷3-1-7
千登世橋教育文化センター1階教育センター内
- 園子ども若者課子どもの権利擁護グループ ☎4566-2402

9月6日(水)オープンします

「子どもの権利相談員」が、直接子どもたちの声を聴き、子ども自身が一番良いと思える方法を、一緒に考えます。



どんなお話しでも聞きましょう!

としまっ子どもなんでも相談

なやみミ フリーダイヤル | 子ども用

☎0120-618-471

【月～土曜日】午前9時～午後6時
(土曜日は午後5時まで)

※子どもの相談に関する普及啓発のキャラクター「なやみミ」

不登校・生活環境・ヤングケアラー・経済的問題など 専門家たちが連携して問題解決

スクールソーシャルワーカー(SSW)を各中学校区に配置し、スーパーバイザーの指導・助言の下、不登校などに対して、より迅速に対応していきます。
園教育センタースクールソーシャルワーカーグループ ☎6846-5612

インクルーシブ教育の充実

障害の有無に関わらず、お互いの個性を尊重し、いきいきと活躍できるインクルーシブ教育を充実させていきます。

園指導課指導主事 ☎3981-1146

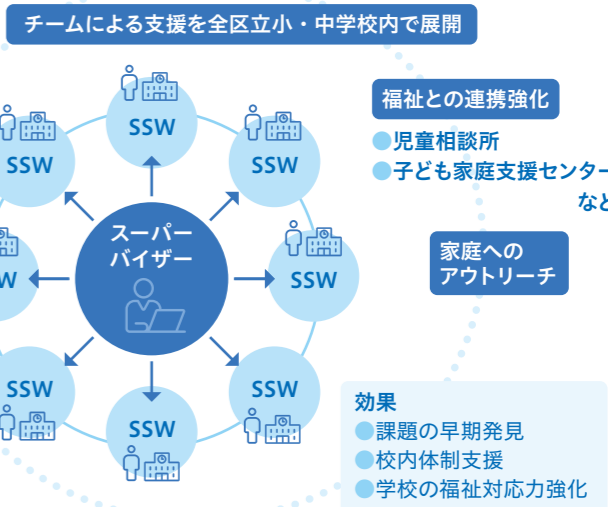
中学生の放課後支援

地域の方々とともに「居場所づくり」「学習支援」「部活動改革」を一体的に取り組むことで、中学生の放課後を支援していきます。

- 居場所づくり…「にしまる一む」
 - 学習支援…「としま地域未来塾」区内3か所で開催、校内別室指導支援員配置(西池袋中学校でモデル実施)
 - 部活動支援…10月からとしま土曜部活動モデル事業実施
- 園放課後対策課中学生放課後対策グループ ☎4566-2778、
教育センタースクールソーシャルワーカーグループ ☎6846-5612

給食費無償化(令和5年2学期から)

学校給食は、児童・生徒の心身の健全な発達、望ましい食習慣の形成などの大切な役割を担っています。区立小・中学校の児童・生徒の給食費無償化で、経済的負担の軽減、安心して子育てできる環境を整備します。
園学務課保健給食グループ ☎3981-1176



西池袋中学校校内居場所「にしまる一む」を運営している
認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
理事長 栗林 知絵子さん

コロナ禍で不登校の子どもが増えてきたことを知り、何かできないかと考えていました。学校、家庭とは違う、地域の人々が大らかに子どもを見守り、ここに来ることで気持ちを軽くする場所になればと思います。にしまる一むは、くつろげる空間を意識しています。部活の試合で負け、落ちこんだ気持ちを切り替えて帰宅する子もいますよ。子どもたちは大事な存在。少しでも応援したいです。



1 誰もが安全・安心に暮らせるまち

2 切れ目のない支援で子育てしやすいまち

3 笑顔で元気なとしまっ子が育つまち

4 アート・カルチャーが日常にあふれるまち

5 シニアライフが輝くまち

6 商店街を元気に！起業・創業を応援するまち

7 地球にも人にもやさしい持続可能なまち

8 人が主役のウォーカーフルなまち

“アート・カルチャー”が日常にあふれるまち

ハレザ池袋やグローバルリングシアターなどの街中に広がる豊かな文化芸術資源を活かし、首都東京の文化拠点として、子どもからシニアまで、身近なところでアート・カルチャーに触れられるまちづくりを進めます。
 圏文化デザイン課施設調整グループ☎3981-1476、文化観光課観光企画グループ☎3981-4623



まちかどで味わう



音楽があふれるまちへ

路上に響き渡るメロディー



世界トップクラスの音楽を楽しむ



「マンガ・アニメ・コスプレの聖地」へ

マンガ文化の原点「トキワ荘」、東京都や民間企業との連携によりさらに存在感を増した「アニメのまち 池袋」、そして国内最大級の「池袋ハロウィンコスプレフェス」など、「マンガ・アニメ・コスプレの聖地 豊島区」として国内外に豊島区の魅力を発信していきます。
 圏文化観光課マンガ・アニメグループ☎4566-2758



区長も参加!

世界規模のコスプレイベント



©池袋ハロウィンコスプレフェス

池袋は私の庭! ここに来るとテンションが上がります。

定期的にも開催しているコスプレイベントもあります!

衣装は仕事帰りに自分で作りました。



VRでミュージアム体験

VRトキワ荘マンガミュージアム

スマホを使ってバーチャル体験! どこにいても、ミュージアムの中を見学することができます。今後、豊島区では様々な分野でVRを使用した事業を展開。場所や時間を問わず、国内外から気軽に楽しめます。

VR…バーチャルリアリティの略。コンピューターによる、仮想空間を疑似体験できる仕組み。



VR体験はこちら



スマホからはこのようにご覧いただけます。

ここだけの“感動体験”を子どもたちに!

宝塚歌劇の中学生鑑賞教室をはじめ、一流のミュージカルや音楽を鑑賞し、また子どもたち自身が劇場の舞台上でスポットライトを浴びて歌い、踊るなど、本物の芸術に触れ、体験する機会をつくっていきます。

地域で生まれ、にぎわいと活力をもたらすお祭りを大切に守り、未来につないでいきます。 圏文化観光課観光交流グループ☎3981-1316



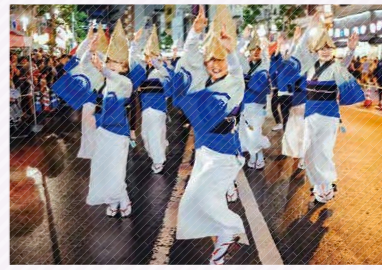
ふくろ祭り
「御輿の祭典」
9月後半の土・日曜日は、池袋駅西口が御輿の熱気で溢れかえります。クライマックスは本祭の『宵御輿パレード』です。



ふくろ祭り
「踊りの祭典」・東京よさこい
10月前半の土・日曜日は、池袋駅西口を中心に区全体で「踊りの祭典」が行われます。一番の見せ場は、100を超えるチームが華麗に舞う「東京よさこい」です。



雑司ヶ谷鬼子母神御会式
毎年10月に、白い和紙の花を一面に付けた、高さ3~4メートルの万灯を掲げて、団扇太鼓をたたきながら鬼子母神堂まで練り歩きます。



東京大塚阿波踊り
毎年8月に、地域に根差した地元連を中心とする1,000人以上の踊り手による個性豊かな踊り手による個性豊かな踊りで夏の大会を彩ります。

①誰もが安全・安心に暮らせるまち

②子どもが安心して育つまち

③笑顔で元気な子どもが育つまち

④アート・カルチャーがあふれるまち

⑤シニアライフが輝くまち

⑥商店街を元気に! 起業・創業を応援するまち

⑦地球にも人にもやさしい持続可能なまち

⑧人が主役の「ウオーカブルなまち」



シニアライフが輝くまち



一人暮らしの高齢者の割合が日本一高い豊島区——。住み慣れたこのまちでいつまでもいきいきと、安心して暮らし続けることができるよう、「人にやさしい」「人と地域がつながる」まちづくりを進めています。
 高年齢福祉課介護予防・認知症対策グループ ☎4566-2434



新たな居場所

だれでも食堂

一人暮らしの高齢者のほか、あらゆる世代の方が利用できる食堂。仕切りがある席もあるので、庭を眺めながら落ち着いて食べることもできますよ。ここでの出会いで支え合いの輪が生まれることも。



管理栄養士からアドバイス

メニューはアドバイスをもらいながら地域の方が中心となり作成。調理は地域の方、配膳は学生がボランティアとして活躍しています。



▲食後のコーヒータイム

interview



高田介護予防センター長 相澤和彦さん

閉じこもりがちな人など、人と関わるのは得意じゃないけど、行ってみようかなと思える場所をつくりたいと思い、活動を始めました。私は、誰でも安心できる空間づくりを大切にしています。テーブルの仕切りも、最初はコロナ対策でしたが、1人でも食べやすいようにそのままにしています。驚いたのは「話してなくても誰かの隣で食事ができて幸せです」と声があったこと。1人でいた方が食べた後すぐに帰らずに談笑したり、ここに来ることで、自分から行動を起こすようになったりするなどの変化が見られた時は本当にうれしいですね。今後は、来る人同士の中で助け合いが生まれたり、だれでも食堂が増えるなど、支援の輪がもっと広がればいいなと思っています。

DATE ●日時…毎月第1日曜日 午前9時～午後3時(食事提供は午前11時～午後1時)
 ●場所…高田介護予防センター ●料金…300円 ●申込み…電話で当センター☎3590-8116へ※先着順。

好きなことできいきと

つながるサロン

主なサロンを紹介/



丘の上サロン

毎週月曜日 午前10時～正午
 雑司が谷公園丘の上テラス

手足の運動と介護予防体操のしる体操を毎回行っています。季節によって公園内のウォーキングやラジオ体操、輪投げやポッチャも。



駒込つながるサロン ストラライブ

第1・3木曜日 午後1～5時
 オフィスライブ(駒込1-7-10)

「100歳になっても元気」を目標に、フレイル・介護・認知症を予防し、健康寿命を延ばします。体操・茶話会・手芸やカラオケなどの各趣味教室で友達やいきがいを



そのほかのサロンや
 詳細はこちら



ここで安心! デジタルサポート

ひろばカフェ



週に1回、5か所の区民ひろば(駒込・池袋・上池袋・豊成・椎名町)を巡回するカフェ。コーヒーなどを飲みながら気軽に参加でき、スマホ・タブレット教室や個別相談を行っています。

●カフェ営業日…月曜日/駒込、火曜日/池袋、水曜日/上池袋、木曜日/豊成、金曜日/椎名町
 いずれも午前10時～午後3時◇スマホ教室、個別相談は無料。飲食は有料。

★スマホ・タブレット個別相談

操作などで困ったことがあったら、カフェ営業時間中にスタッフに声をかけると個別に教えてもらえます。

★スマホ・タブレット教室

午前の部/午前10時30分～11時、
 午後の部/午後1時～1時30分◇8名程度
 ◇スマホの貸出あり。

●申込み…電話でワークスコープひろばカフェ担当☎080-7858-0043へ。
 当日受付も可(予約優先)。

一人暮らしでも安心

見守り活動



訪問しお話を伺います/

区内8か所の高齢者総合相談センターで勤務する職員が主に見守りが必要な一人暮らしの高齢者の自宅を訪問し、日々の困りごとなどを伺っています。相談を受け、必要な時は支援やサービスにつないでいます。

定期的な安否確認/

見守りが必要な方にはシルバー人材センター職員が月2回訪問し、安否確認をしています。安否が確認できない場合には高齢者総合相談センターへつなぎ、職員が連携して迅速に対応しています。

【こちらで相談できます】

介護や健康など、様々な相談ができます。お住まいの地域の高齢者総合相談センターをご利用ください。

- 1 西部高齢者総合相談センター ☎3974-0065
- 2 アトリ工村高齢者総合相談センター ☎5965-3415
- 3 いげんの郷高齢者総合相談センター ☎3986-0917
- 4 豊島区医師会高齢者総合相談センター ☎3986-3993
- 5 中央高齢者総合相談センター ☎5985-2850
- 6 ふくろうの杜高齢者総合相談センター ☎5958-1208
- 7 菊かおる園高齢者総合相談センター ☎3576-2245
- 8 東部高齢者総合相談センター ☎5319-8703

午前8時30分～午後6時30分(土曜日は午後4時30分まで)
 ◇休館…日曜日、祝日、年末年始



1 誰もが安全・安心に暮らせるまち

2 子育てしやすいまち

3 笑顔で元気な子どもが育つまち

4 アート・カルチャーが日常にあふれるまち

5 シニアライフが輝くまち

6 商店街を元気に起業・創業を応援するまち

7 地球にも人にもやさしい持続可能なまち

8 人が主役のウォーカーフルなまち

商店街を元気に！起業・創業を応援するまち

商店街の元気がまちの活力につながることから、商品券事業をはじめ様々な事業を積極的に支援していきます。また、起業・創業や円滑な事業運営を応援します。



▲すがも商人まつり

地元商店街への支援強化

商店街は、まちのコミュニティの核として「人と人」や「人と地域」をつなぐ重要な役割を担っています。地元商店街への支援強化として、プレミアム付商品券事業をはじめ、デジタル化推進支援、商人まつりや商店街が実施するイベントへの支援に積極的に取り組んでいきます。
☎生活産業課商店街振興グループ ☎5992-7017



▶池袋東口としま商人まつり

プレミアム付商品券事業

各商店街が独自に発行するプレミアム付商品券の支援をしています。プレミアム率は20～40%程度で、商店街でお得に買い物ができます。※商店街によって、発行の有無やプレミアム率などが異なります。

デジタル化推進

商店街、地域の皆さまが相互に利用しやすい商店街を目指し、デジタル技術の活用に向けた支援を行っていきます。

としまビジサポで起業を応援

プログラム例 ★ビジネスコーディネーターによる売上・販路拡大相談



経営課題に向けた具体的な提案と起業後の売上・販路拡大などを一緒に考えます。売り上げを伸ばすにはどうしたらいいのか、どのように商品を並べれば見栄えがよくなるのかなどのアドバイスをします。区内のイベントに出店する事業者向けサポートも行っています。

ノウハウを持つ金融機関・団体と連携し、専門相談員との面談を通じて事業者の皆さまの経営、新たな価値の創造と一緒に取り組みます。相談は何度でも無料です。
☎生活産業課商工グループ ☎4566-2742



ふるさと納税の返礼品事業

今年度から区内伝統工芸品など区の特性を活かした返礼品を用意し、区のPRと区内産業の振興につなげます。
☎生活産業課ふるさと納税推進グループ ☎4566-2748

としまの「原石」を全国、そして世界に～東京としまの宝物事業～

“にっぽんの宝物プロジェクト”は「地方の原石」を全国・世界レベルのヒット商品に育てる事業です。昨年度、区では地域の金融機関や企業・団体と協働で同プロジェクトを活用した「東京としまの宝物事業」を実施。セミナーでは、多様な分野の事業者がグループワークやプレゼンテーションの訓練を繰り返し、短期間で商品をブラッシュアップしました。セミナー終了後の地域大会では、参加した事業者の皆さまによる熱いプレゼンテーションが行われました。グランプリを受賞したサイゴンレストランはその後のJAPAN大会で部門1位に輝き、世界大会の出場権を獲得しています。

(株)ビナコーポレーション(サイゴンレストラン) TRAN ANH TRUNGさん

グランプリを取った時は喜びとともに、さらに身が引き締まる思いでした。セミナーは、商品開発やプレゼンなど準備が大変でしたが、様々な意見が聞けたり、豊島区のほかの事業主さんとの交流もできてよかったです。今後は受賞作品を皆さんが公園などで気軽に食べられるようなテイクアウトメニューにしていきたいですね。ベトナム料理を知らない人たちにも知ってもらえる機会を作ることが次の目標です。



地球にも人にもやさしい持続可能なまち



SDGs未来都市であり「ゼロカーボンシティ」を宣言した豊島区——。行政・事業者・区民が一体となって、良好な環境を次世代に引き継ぐ持続可能なまちづくりを進めています。

☎環境政策課環境計画グループ ☎3981-1597

子どもたちも学んでいます

区立小・中学校では、大正大学や民間企業などと連携した環境教育や自然環境の体験学習に取り組んでいます。また、小学校のプールにいるヤゴを題材に、地域の方々と一緒に進める生きもの学習や、学校内のビオトープ・校庭などの環境を題材にした授業を実施しています。



▲ヤゴ救出作戦



▲ビオトープ



▲はじめよう！エコ・クッキング
民間企業と連携した環境の特別授業

エコ・クッキングの授業を受けた子どもたちに感想を聞きました



普段にも意識せずに、洗剤を使ったり、野菜の食べられる部分を捨ててしまっていました。環境について学んで、野菜の捨てる部分を減らして無駄なく食べられてよかったです。洗剤も少ない量でたくさん泡が出てびっくりしました。家でも家族に話して実践してみたいです。

プラスチック資源化で環境にやさしく

●10月から区内全域でプラスチックの資源回収がはじまります

この取り組みにより燃やすごみが減り、CO₂の排出量を抑えることが期待されています。9月中旬までに、プラスチックの分け方・出し方などを掲載したパンフレットを全戸配布します。



資源・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」配信中



●全区民ひろばにマイボトル用給水機を設置しました

マイボトルを持参する人が増えることで、ペットボトルごみが減り、CO₂排出量の削減にもつながります。今後は他の区施設にも設置していきます。

みどりを増やしています

緑化ボランティア活動、公共施設の屋上緑化や苗木の無料配布などを通して、身近にみどりを感じられるまちづくりを進めています。



▲緑化ボランティア活動



▲屋上緑化

地球も体も健康に

●路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール

今年度からパトロールの日数を増やして取組みを強化しています。受動喫煙防止を呼びかける横断幕などでの啓発、路上喫煙者に対する直接的な注意・指導を行っています。

●民間事業者等による公衆喫煙所の設置等助成

路上喫煙・ポイ捨てや受動喫煙を防止するため、公衆喫煙所を設置する費用の助成を行っています。今年度からは維持管理経費の助成も開始しました。



ちょっとおトクに省エネ!

シャワーは流したままにしない

45°Cの湯を流す時間を1日1分短縮した場合

CO₂削減量 30.7kg/年
約4,000円/年の節約

白熱電球をLED電球に取り替えよう

54Wの白熱電球から8WのLED電球に交換した場合(年間2,000時間使用)

CO₂削減量 45.0kg/年
約3,230円/年の節約

出典…東京都環境局「家庭の省エネハンドブック2023」

1 誰もが安全・安心に暮らせるまち

2 子育てしやすいまち

3 笑顔で元気な子どもが育つまち

4 アート・カルチャーが日常にあふれるまち

5 シニアライフが輝くまち

6 商店街を元気に！ 起業・創業を応援するまち

7 地球にも人にもやさしい持続可能なまち

8 人が主役のウェルカフルなまち



人が主役の“ウォーカブル”なまち



池袋をはじめ、地域それぞれの魅力あるスポットを結び付け、区内全体を回遊性の高いウォーカブルなまちにしていきます。
 圏都市計画課ウォーカブル推進グループ ☎4566-2640

東西をつなぐまちづくり

グリーン大通りとアゼリア通りをつなぎ、東西それぞれの広場に「ひと」中心の居心地の良い歩行者空間を創り、東西交流の推進と「エキブクロ」からの脱却を目指します。



▲池袋駅東口



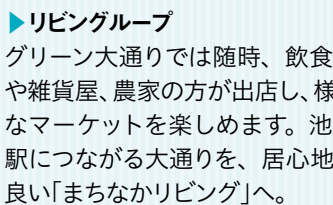
▲池袋駅西口「サンクンガーデン」



まちにはくつろぎの空間があふれています



▲南池袋公園
 4つの公園や、まちに点在するみどりをつなぐことで、訪れる人にとって快適で楽しめる歩行者空間へ。



写真提供 / (株)nest

▶リビンググループ
 グリーン大通りでは随時、飲食店や雑貨屋、農家の方が出店し、様々なマーケットを楽しめます。池袋駅につながる大通りを、居心地の良い「まちなかりビング」へ。

Q. ウォーカブルなまちとは？

ウォーカブル(walkable)とは、「歩く」を意味する「walk」と「できる」を意味する「able」を組み合わせた言葉です。文字通り、「歩きやすい」「歩きたくなる」といった意味を持っています。
 まちのにぎわいや観光客の増加、健康寿命の延伸、孤独・孤立の防止など、様々な地域課題の解決や、新たな価値の創造につながることを期待されています。

ご希望の方に「広報としま」と「としま区議会だより」をお届けします 無料

◇対象…区内にお住まいの、新聞を購読していない世帯(企業などは除く) ◇「広報としま」発行日…特集版/毎月1回1日発行、情報版/毎月3回1・11・21日発行、「としま区議会だより」随時発行 ◇配送方法…発行日翌日までにポストへ投かん。
 ☎電話かファクスかEメール(氏名・ふりがな)・住所・電話番号を記入)で、「広報グループ☎4566-2532、FAX 3981-1375、EM A0010509@city.toshima.lg.jp」へ。

「広報としま」はデジタルブックでも配信中



区政情報をお届けしています

Smart News 区公式 X(旧Twitter) 区公式 LINE



●豊島区民による事業提案制度
 来年度予算編成に向けての提案を受付中。
 ◇締切日 9月15日
 ◇対象者 区内在住、在勤、在学の方、または区内に活動拠点を有する企業・団体・学校
 ◇提案内容 分野は自由



1 誰もが安全・安心に暮らせるまち

2 切れ目のない支援で子育てしやすいまち

3 笑顔で元気な子どもが育つまち

4 アート・カルチャーが日常にあふれるまち

5 シニアライフが輝くまち

6 商店街を元気に！起業・創業を応援するまち

7 地球にも人にもやさしい持続可能なまち

8 人が主役のウォーカブルなまち